

放射線治療精度に影響を与える因子に関する基礎研究

(平成26年度版)

実施計画書

新潟大学医学部保健学科
新潟大学大学院医歯学総合研究科

1. 実施計画書の要約

1-1. 目的

放射線治療が行われた患者の治療データを遡及的に解析することにより、放射線治療精度に影響を与える因子についての基礎データを取得すること。

1-2. 対象の適格基準

- 1) 新潟大学医歯学総合病院にて IMRT を受けた患者である。
- 2) 放射線治療計画用 CT 画像データを用いた 3 次元治療計画が行われている。
- 3) 治療の開始前に、効果、副作用、代替療法および研究目的のデータ閲覧について文書を用いた説明を受け、同意が得られている。

1-3. 研究方法

- 1) 診療用の放射線治療計画装置 Eclipse に記録されている治療計画データを、新潟大学医歯学総合病院医学物理室にある研究用の治療計画装置 Eclipse に移植する
- 2) 研究用 Eclipse 上で、マルチリーフコリメーターの設定値を変化させ、線量分布の再計算を行う
- 3) 変化させる MLC 設定値は、Transmission Factor と Dosimetric Leaf Gap とする
- 4) MLC の設定値の変化に応じた線量分布の変化量を Dose-Volume Histogram を用いて検討する。

1-4. 研究期間・症例数

倫理審査委員会の承認から 1 年間

前立腺癌の治療計画最大 10 症例、頭頸部癌の治療計画最大 10 症例

1-5. 問い合わせ先（研究代表者）

〒951-8518 新潟市旭町通 2-746

新潟大学医学部保健学科放射線技術科学専攻 笹本龍太

E-mail: rsasa@clg.niigata-u.ac.jp、 TEL & FAX : 025-227-0521